

(7) 財団法人 とっとりコンベンションビューロー経営状況報告書

一 法人の概要

- 1 名 称 財団法人 とっとりコンベンションビューロー
- 2 目 的 鳥取県の有する優れた自然、歴史的・文化的資源を生かし、コンベンションの誘致、支援等を行うことにより、鳥取県におけるコンベンションの振興を図り、もって県内産業の振興、地域の活性化、国際的な相互理解の増進及び文化の向上に寄与することを目的とする。
- 3 設立許可年月日 平成7年7月7日
- 4 設立登記年月日 平成7年7月7日
- 5 基本財産 出えん金 972,142,000円
鳥取県出えん金 500,000,000円
4市出えん金 250,000,000円
そ の 他 222,142,000円
- 6 役 員 理 事 19人 監 事 2人
- 理 事 長 永 瀬 正 治 (米子商工会議所会頭)
- 副理事長 井 藤 久 雄 (国立大学法人鳥取大学医学部長)
- 専務理事 長谷川 泰 二
- 理 事 岡 本 範 道 (鳥取環境大学常務理事)
- ” 山 根 昭 彦 (氷温学会専務理事)
- ” 柴 田 英 杞 (財団法人鳥取県文化振興財団副理事長)
- ” おそど まさこ (社団法人鳥取県観光連盟観光プロデューサー)
- ” 長谷川 富 夫 (西日本旅客鉄道株式会社執行役員米子支社長)
- ” 福 本 有 希 子 (有限会社白扇専務取締役)
- ” 清 水 雅 文 (前財団法人とっとりコンベンションビューロー企画運営委員会副委員長)
- ” 野 坂 道 明 (前財団法人とっとりコンベンションビューロー企画運営委員会副委員長)
- ” 澤 耕 司 (日本交通株式会社常務取締役)

理事 吉田圭子（株式会社赤瓦取締役）
" 吉野立（田園プロジェクト代表）
" 法橋誠（鳥取県文化観光局長）
" 大西康隆（鳥取市経済観光部長）
" 伊田收一（倉吉市産業部長）
" 植田收（米子市経済部長）
" 松本健治（境港市産業環境部長）
監事 高橋敬一（有限会社高橋会計事務所代表取締役社長）
" 船越安之（前米子市収入役）

7 職員 26人（うち県派遣職員 3人、県退職職員 1人）

8 事務所 米子市末広町294番地

二 平成16年度事業実施状況

1 組織体制の見直し

財団に「組織のありかた検討委員会」を設置し、理事会の活性化や戦略的誘致活動への転換、事業領域の拡大など、より戦略的な組織への転換を図るための検討を行った。

2 コンベンションの誘致及び支援事業

県外のコンベンション主催者及び県内の大学・団体・行政等の関係者に対して誘致セールスを行うとともに、県内で開催されたコンベンションに対する開催経費の助成やパンフレットの提供、コンベンションボランティアの派遣など、各種支援サービスを提供した。

また、鳥取県人会、高等学校同窓会等との個別懇談を行い、コンベンションの鳥取県開催についての情報交換、協力要請を行った。

3 コンベンションの調査及び企画事業

コンベンション開催意向調査等の情報収集、経済的波及効果の推計調査を行うとともに、県民にコンベンションの有用性を広く普及するためのコンベンションまつり、地域の特色を活かしたテーマに基づき自主企画コンベンションを開催する企画運営委員会の活動など、各種事業を開催した。

4 広報及び宣伝事業

機関紙の発行、広報記事の掲載等、県内コンベンション主催者へのDM発送など、各種広報宣伝活動を展開した。

5 米子コンベンションセンターの管理運営に関する事業

(1) 施設を常に最良の状態を利用に供するために施設、設備のメンテナンスを的確に行い、安全対策に万全を期すために施設の安全点検及び防火訓練を実施した。

また、利用者等の意見や問題事案を検討する職員の委員会を設立し、積極的に会館運営に反映させた。

(2) 平成16年度における代表的な大規模催事

- ・エコアジア2004(6月18日～20日)
- ・東アジア地方政府観光フォーラム(9月5日～6日)
- ・鳥取県総合芸術文化祭「朝日座」復活事業(10月16日～17日)

財団法人 とっとりコンベンションビューロー 収 支 計 算 書

(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

(一般会計)

	科 目	予算額	決算額	差 異	備 考	
収 入		円	円	円		
	基本財産運用収入	14,283,000	15,422,180	1,139,180		
	1 基本財産利息収入	14,283,000	15,422,180	1,139,180		
	補助金等収入	73,431,000	62,706,124	10,724,876		
	1 地方公共団体補助金収入	65,537,000	55,150,610	10,386,390		
	(1) 県補助金収入	32,768,500	27,575,305	5,193,195		
	(2) 市町村補助金収入	32,768,500	27,575,305	5,193,195		
	2 地方公共団体負担金収入	7,894,000	7,555,514	338,486		
	(1) 県負担金収入	7,894,000	7,555,514	338,486		
	会費収入	3,000,000	3,320,000	320,000		
	1 賛助会員会費収入	3,000,000	3,320,000	320,000		
	雑収入	1,000	1,107,330	1,106,330		
	1 受取利息	1,000	430	570		
	2 雑収入	0	1,106,900	1,106,900		
		当期収入合計(A)	90,715,000	82,555,634	8,159,366	
		前期繰越収支差額	0	0	0	
		収入合計(B)	90,715,000	82,555,634	8,159,366	

科 目		予算額	決算額	差 異	備 考
		円	円	円	
支	管理費	45,005,178	42,805,875	2,199,303	
	1 職員人件費	36,138,000	34,472,167	1,665,833	
	2 会議費	878,000	810,772	201,228	事務局費より
		134,000			134,000円
	3 事務局費	7,699,089	7,522,936	332,242	誘致事業費
		156,089			より
					222,158円
					広報宣伝事業
					費より
					67,931円
出					会議費へ
					134,000円
	事業費	44,935,822	39,749,759	5,186,063	
	1 誘致事業費	15,412,636	12,949,932	1,886,340	事務局費へ
		576,364			222,158円
					調査企画事業
					費へ
					354,206円
	2 調査企画事業費	3,841,206	3,632,769	562,643	誘致事業費よ
		354,206			り 354,206円
3 広報宣伝事業費	7,422,069	6,067,058	1,287,080	事務局費へ	
	67,931			67,931円	
4 コンベンション開催助成費	18,550,000	17,100,000	1,450,000		
特定預金支出	774,000	0	774,000		
1 退職給与引当預金支出	774,000	0	774,000		
当期支出合計(C)		90,715,000	82,555,634	8,159,366	
当期収支差額(A) - (C)		0	0	0	
次期繰越収支差額(B) - (C)		0	0	0	

財団法人 とっとりコンベンションビューロー
貸借対照表

(平成17年3月31日現在)

(一般会計)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
流動資産	6,719,756	負債	9,561,806
1 現金預金	5,418,356	1 流動負債	6,719,756
(1) 普通預金	5,418,356	(1) 未払金	2,567,944
2 未収金	1,301,400	(2) 預り金	4,151,812
固定資産	976,995,579	2 固定負債	2,842,050
1 基本財産	972,142,000	(1) 退職給与引当金	2,842,050
(1) 基本財産普通預金	1,552,242	正味財産	974,153,529
(2) 基本財産定期預金	60,000,000	(うち基本金)	(972,142,000)
(3) 基本財産投資有価証券	910,589,758	(当期正味財産増加額)	(1,069,999)
2 その他の固定資産	4,853,579		
(1) 電話加入権	224,952		
(2) 車両運搬具	540,358		
(3) ソフトウェア	1,246,219		
(4) 退職給与引当預金	2,842,050		
合 計	983,715,335	合 計	983,715,335

財団法人 とっとりコンベンションビューロー

収 支 計 算 書

(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

(特別会計)

	科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
		円	円	円	
収 入	補助金等収入	28,242,000	27,478,801	763,199	
	1 地方公共団体補助金収入	24,729,000	15,742,137	8,986,863	
	(1) 県補助金収入	16,335,000	15,742,137	592,863	
	(2) 市補助金収入	8,394,000	0	8,394,000	
	2 地方公共団体負担金収入	3,513,000	11,736,664	8,223,664	
	(1) 県負担金収入	3,513,000	3,393,268	119,732	
	(2) 市負担金収入	0	8,343,396	8,343,396	
	受託事業収入	253,812,000	230,971,969	22,840,031	
	1 地方公共団体受託事業収入	253,812,000	230,971,969	22,840,031	
	(1) 県受託事業収入	126,906,000	115,485,985	11,420,015	
	(2) 米子市受託事業収入	126,906,000	115,485,984	11,420,016	
	事業収入	86,372,000	85,302,140	1,069,860	
	1 施設利用料収入	86,372,000	85,302,140	1,069,860	
雑収入	5,788,000	7,072,780	1,284,780		
1 割当光熱水費等収入	5,185,000	4,877,330	307,670		
2 受取利息	1,000	1,572	572		
3 雑収入	602,000	773,433	171,433		
4 保険金	0	1,420,445	1,420,445		
特定預金取崩収入	0	8,025,400	8,025,400		
1 退職給与引当預金取崩収入	0	8,025,400	8,025,400		
	当期収入合計(A)	374,214,000	358,851,090	15,362,910	
	前期繰越収支差額	0	0	0	
	収入合計(B)	374,214,000	358,851,090	15,362,910	

科 目		予算額	決算額	差 異	備 考
		円	円	円	
	センター運営費	368,734,000	358,851,090	9,882,910	
	1 職員人件費	115,082,000	111,087,838	3,994,162	
	2 事業費	253,652,000	246,342,807	5,879,193	損害賠償金へ
		1,430,000			1,430,000円
	3 損害賠償金	0	1,420,445	9,555	事業費より
		1,430,000			1,430,000円
	特定預金支出	5,480,000	0	5,480,000	
	1 退職給与引当預金支出	5,480,000	0	5,480,000	
支					
出					
	当期支出合計(C)	374,214,000	358,851,090	15,362,910	
	当期収支差額(A) - (C)	0	0	0	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	0	

財団法人 とっとりコンベンションビューロー
貸借対照表

(平成17年3月31日現在)

(特別会計)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
流動資産	37,836,581	負債	56,379,844
1 現金預金	26,699,852	1 流動負債	37,836,581
(1) 現金	312,976	(1) 預り金	5,428,969
(2) 普通預金	26,386,876	(2) 未払金	25,055,672
2 未収金	11,136,729	(3) 前受金	7,351,940
固定資産	18,543,263	2 固定負債	18,543,263
1 その他の固定資産	18,543,263	(1) 退職給与引当金	18,543,263
(1) 退職給与引当預金	18,543,263	正味財産	0
		(当期正味財産増加額)	(11,660)
合 計	56,379,844	合 計	56,379,844

三 平成17年度事業計画

1 基本方針

当財団が平成17年度に創立10周年を迎えるにあたり、これまでの財団のありかたを根本から見直すとともに、近年のコンベンション誘致の競争激化、公の施設の指定管理者制度導入など、財団を取り巻く環境の変化に対応するため、より戦略的な組織への転換、事業の効果的実施を目指す。

- (1) 戦略的コンベンションビューローへの転換
- (2) 誘致・開催支援活動の拡充
- (3) コンベンションの企画プロデュース
- (4) 自主企画コンベンションの実施
- (5) 広報宣伝・情報化の推進
- (6) 経済・文化の交流拠点である米子コンベンションセンターの管理運営

2 主要事業

(1) 戦略的コンベンションビューローへの転換

平成16年度に設置した「組織のありかた検討委員会」の答申を尊重し、今後、より戦略的なコンベンションビューローへの転換を図るため、財団の組織改革及び事業拡大を行う。

戦略的組織への転換

経営戦略会議の設置等により、理事会機能を強化し、戦略的・行動的組織への転換を図る。

戦略的誘致活動への転換

従来のルートセールスだけではなく、時代潮流や社会動向を探りながら、個性的で地域振興に貢献する大会・会議を誘致する。

コンベンション開催支援システムの取組

フォア・ザ・コミュニティの視点からコンベンション開催を促進するため、地域に根ざしたコンベンション開催支援システムの構築に取り組む。

(2) 誘致・開催支援活動の拡充

平成17年度の数値目標（参加者10万人、経済的波及効果100億円）を達成するため、現在行っている誘致活動をより充実させるとともに、今後は対象分野を拡充し、コンベンション誘致をより一層推進する。

[今後拡充が見込まれる分野]

- ・福祉・スポーツコンベンション
- ・国際コンベンション
- ・企業コンベンション 等

誘致セールス

首都圏を中心に各種団体への誘致セールスを行うとともに、県内キーパーソンを訪問し、コンベンションの鳥取県誘致を要請する。

誘致促進事業

県外のコンベンション主催者を招致し、関係施設を案内し、コンベンションの鳥取県開催を要請する。また、鳥取県人会、高等学校同窓会等との個別懇談を行い、コンベンションの鳥取県開催についての情報交換、協力要請を行う。

国際コンベンションの誘致

近年のコンベンションのグローバル化など、コンベンションを取り巻く環境の変化に対応するため、国際コンベンション誘致に積極的に取り組む。当面は、行政、経済界の国際交流事業と連携し、キーパーソンとの人脈づくりや情報収集など、将来のコンベンション誘致につながるネットワークの構築に努める。

開催支援事業

鳥取県開催コンベンションの円滑な運営を支援するため、主催者への財的・物的支援、情報提供等を行う。

(3) コンベンションの企画プロデュース

コンベンションの企画の素案はあるが、知識や経験、人材不足のため企画どまりになっているものに対して、当財団が企画の組立やアドバイス、運営面の側面支援を行うことにより、鳥取県開催のオリジナルコンベンションを誘発する。

(4) 自主企画コンベンションの実施

鳥取県の個性的な資源を活用して、集客を図ることのできるオリジナルなコンベンションを創出し、集客人口の安定的増加に貢献する。

とっとり未来フォーラムの開催

鳥取県の地域振興の支えとなる知恵と人材を掘り起こし、新たな産業を創出するとともに、まちづくりや地域の活性化に資するため、当財団の企画運営委員会で企画・運営する「とっとり未来フォーラム」を県内3カ所で開催する。〔10周年記念事業〕

「第46回外国人による日本語弁論大会米子大会」の開催

地域住民による国籍や文化の違いを越えた交流、相互理解の場を与え、国際社会における日本のありかたを検証する機会を提供するため、「第46回外国人による日本語弁論大会米子大会」を開催する。〔10周年記念事業〕

(5) 広報宣伝・情報化の推進

既存の広報宣伝の充実強化に努めるとともに、現在の情報提供のありかたを見直し、今後より一層のコンベンション誘致に役立てるため、当財団の広報宣伝、情報化の推進に取り組む。

広報宣伝

機関紙の発行、専門誌への広告掲載等により、県内外のコンベンション主催者に鳥取県開催を働きかけるとともに、当財団の活動を紹介し、県内の関連情報を提供する。

コンベンションまつりの開催（コンベンションセミナー併催）

コンベンションまつりを開催して、県民にコンベンションの有用性を広くアピールし、併せてまつりを通じた地域の活性化に資する。〔10周年記念事業〕

とっとりコンベンションビューローの情報化推進

コンベンション主催者への適宜適切な情報提供を行うため、当財団の重要な情報発信ツールの一つとして、ホームページを全面改訂する。

(6) 経済・文化の交流拠点である米子コンベンションセンターの管理運営

施設の運営方針

県下随一のコンベンション施設である当館の建物・設備の高度な機能及び交通アクセスに優れた立地条件を最大限に発揮させた交流の拠点施設として、また、専門の文化ホールに匹敵する舞台、音響、照明設備と専門知識を有する職員の能力を活用した文化の拠点施設として地域の活性化を図る。

具体的な管理運営方針

ア 安全で快適な利用環境の提供

- ・施設、設備の計画的なメンテナンスの実施
- ・催事関係者との綿密な打合せによる安全管理の徹底
- ・清掃、警備等の外注業務に対する適切な指導監督
- ・外注業務、入居機関を含めた全館体制による防災訓練の定期的な実施

イ 効率的な会館運営

- ・サービス水準とコストのバランスを念頭に全ての経費の点検を実施
- ・職員に対するコスト意識（金銭コスト、時間コスト）の徹底
- ・催事のボリュームに応じた柔軟な職員体制の導入

ウ 利用者サービスの向上と利用促進

- ・利用者の意見やトラブル事案を全員が共有し、組織的に業務改善を実施
- ・目的を明確にした研修の実施、外部の専門研修への派遣による職員の資質向上
- ・リピーター確保に向けた顧客訪問活動

エ 地域の活性化に向けた取組

- ・誘致部と一体となった事業展開
- ・地域振興を企図した行政機関等の施策への積極的なバックアップ

オ 会館の文化機能の一層の発揮

- ・文化、芸術利用者に対するきめ細かなサポート
- ・行政や文化振興組織の行う文化事業との協調
- ・西部地区の公共ホールとの連携強化

平成17年度の大規模催事

- ・第46回外国人による日本語弁論大会米子大会(6月18日)
- ・第3回鳥取県総合芸術文化祭「朝日座」(9月～10月)
- ・第17回生涯学習フェスティバル(10月9日～15日)
- ・医学会(日本呼吸器学会、中部日本整形外科学会など)
- ・研究会等(水道研究大会、文化経済学会など)

財団法人 とっとりコンベンションビューロー

収 支 予 算 書

(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)

(一般会計)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
基本財産運用収入	15,628	14,283	1,345	
1 基本財産利息収入	15,628	14,283	1,345	
補助金等収入	79,895	73,431	6,464	
1 地方公共団体補助金収入	72,069	65,537	6,532	
(1) 県補助金収入	36,035	32,769	3,266	
(2) 市町村補助金収入	36,034	32,768	3,266	
2 地方公共団体負担金収入	7,826	7,894	68	
(1) 県負担金収入	7,826	7,894	68	
会費収入	3,200	3,000	200	
1 賛助会員会費収入	3,200	3,000	200	
雑収入	1	1	0	
1 受取利息	1	1	0	
入				
当期収入合計 (A)	98,724	90,715	8,009	
前期繰越収支差額	0	0	0	
収入合計 (B)	98,724	90,715	8,009	

科 目		予算額	前年度予算額	増 減	備 考
		千円	千円	千円	
	管理費	51,736	44,715	7,021	
	1 職員人件費	43,237	36,138	7,099	
	2 会議費	748	878	130	
	3 事務局費	7,751	7,699	52	
	事業費	46,988	45,226	1,762	
	1 誘致事業費	14,315	15,413	1,098	
	2 調査企画事業費	6,954	3,841	3,113	
	3 広報宣伝事業費	7,619	7,422	197	
	4 コンベンション開催助成費	18,100	18,550	450	
支	特定預金支出	0	774	774	
	退職給与引当預金支出	0	774	774	
出					
	当期支出合計(C)	98,724	90,715	8,009	
	当期収支差額(A) - (C)	0	0	0	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	0	

**財団法人 とっとりコンベンションビューロー
収 支 予 算 書**

(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)

(特別会計)

科 目		予算額	前年度予算額	増 減	備 考
		千円	千円	千円	
収 入	補助金等収入	28,716	28,242	474	
	1 地方公共団体補助金収入	16,298	24,729	8,431	
	(1) 県補助金収入	16,298	16,335	37	
	市補助金収入	0	8,394	8,394	
	2 地方公共団体負担金収入	12,418	3,513	8,905	
	(1) 県負担金収入	3,960	3,513	447	
	(2) 市負担金収入	8,458	0	8,458	
	受託事業収入	253,444	253,812	368	
	1 地方公共団体受託事業収入	253,444	253,812	368	
	(1) 県受託事業収入	126,722	126,906	184	
	(2) 米子市受託事業収入	126,722	126,906	184	
	事業収入	84,235	86,372	2,137	
	1 施設利用料収入	84,235	86,372	2,137	
	雑収入	5,071	5,788	717	
	1 割当光熱水費等収入	4,908	5,185	277	
	2 受取利息	1	1	0	
	3 雑収入	162	602	440	
当期収入合計(A)		371,466	374,214	2,748	
前期繰越収支差額		0	0	0	
収入合計(B)		371,466	374,214	2,748	

科 目		予算額	前年度予算額	増 減	備 考
		千円	千円	千円	
	センター運営費	371,466	368,734	2,732	
	1 職員人件費	105,757	115,082	9,325	
	2 事業費	265,709	253,652	12,057	
	特定預金支出	0	5,480	5,480	
	退職給与引当預金支出	0	5,480	5,480	
支 出	当期支出合計(C)	371,466	374,214	2,748	
	当期収支差額(A) - (C)	0	0	0	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	0	